

地域住民を主体とした団体により、地域の歴史的な財産である段畑の景観及び農業の保全活動を実施。

地区の特徴

- ゆす みずがうら
- 遊子地区の水荷浦では、宇和海の起伏に富んだりアス式海岸線に突き出た岬の斜面に、城壁のような石垣により段畑を形成。
 - 懸命に生きる人々が築き上げてきた段畑は、眼前に広がる宇和海の美しさと相まって奇跡の景観を構築。半漁半農の営みによる風景とその生活そのものが、受け継がれていくべき日本の財産としてH19年に国の重要文化的景観に選定。
 - 段畑では、主に早堀り馬鈴薯の栽培が農家と「段畑を守ろう会」によって行われている。



（出典：宇和島市観光特産協会HP）

農業農村整備事業との関係

- 【農山漁村活性化プロジェクト支援交付金「宇和島地区」（H20～H23）】
- ・軌道工の整備を実施。あわせて、重要文化的景観に指定された石垣景観の保全（創造）のため、耕作放棄地を復旧。
- 【中山間地域等直接支払制度】
- ・石積みの補修作業に活用。

取組の内容

- ・平成に入り、段畑は2ha程度にまで減少したが、遊子地区のシンボルである水荷浦の段畑を後世に残していこうという理念から、地元有志メンバーが中心となってH12年に「段畑を守ろう会」を発足。
- ・段畑は各農家による耕作を基本とし、農家が耕作できない所を「段畑を守ろう会」が耕作して荒廃を防止。「段畑を守ろう会」は、収穫体験に参加してもらおうオーナー制の導入や花植え活動を実施しているほか、だんだん祭りや段畑ライトアップ開催の中心的役割を担っている。
- ・だんだん祭りは、「段畑を守ろう会」だけでなく、行政、関係団体、地域住民が総出で実施し、賑わいをみせている。
- ・しかし、宇和島市担当者の話では、農家の高齢化は進み、後継者不足が大きな課題となっているとのこと。



石積みの補修作業（出典：段畑を守ろう会HP）



段畑ライトアップ（出典：段畑を守ろう会HP）

取組主体

○段畑を守ろう会